

令和2年度第1回箱根町行財政改革有識者会議での主な意見一覧
(議題2 持続可能な行財政運営手法の確立に向けた検討状況について)

項目	意見	発言者
提案のコンセプトについて	<p>今回の提案は、何か新しい制度を導入するのではなく、財源不足に対応する際に役場の中でのプロセスを確立しておけば良いのではないかと考えた。 したがって、<u>何か重い仕組みを入れるのではなく、既存の仕組みを使いながら、様々な状況に対応できるような手順やプロセスを導入することがコンセプト</u>である。</p>	田中座長 (補足説明)
Ⅰ 財政見通しについて	<p>Ⅰ～Ⅳが、プロセス内容になる。 今後、繰り返し、財源不足の発生が見込まれるため、財源不足がいつどのような規模で発生するのか、長期から中期、短期と遡って、なるべく早期にかつ的確に把握することが最も重要であり、これが出発点となるため、1番目を財政見通しとしている。</p>	田中座長 (補足説明)
Ⅱ 規律的財政マネジメントについて	<p>財政見通しは、様々な時期に行うが、まず、財源不足をなるべく発生させないように、日常的なレベルで対応していくのが、2番目の規律的財政マネジメントである。 大規模災害など大きなショック要因などが起きない状況で、なるべく既存の仕組みを使いながら調整レベルで対応していくことを目指す。</p>	田中座長 (補足説明)
Ⅲ 財源捻出策オプションについて	<p>比較的大規模な財源不足が発生し、少し荒療治が必要という場合に対応するのがオプションABCの3段階の財源捻出策である。 オプションAは、短期的かつ即時的なもので、主に事務事業の廃止削減になるが、イメージは、夕張市並みに事務事業を削ることである。 それで対応できない場合、オプションBは、観光や教育、福祉というある意味、町の生命線や聖域にまで踏み込むものである。 最後オプションCは、すぐに効果は表れないが、長い目で見れば大きな効果が得られるもので、出張所などの公共施設の廃止統合や、最終的には人員体制を抜本的に見直すイメージである。</p>	田中座長 (補足説明)
	<p><u>重要なのは、町で複数のオプションを考えておき、財源不足が大きく、かつ新財源が導入できなかった場合は、これを実行するという</u>ことを、議会や町民に予め示し、ある意味、情報共有しておくという点である。 言い換えると脅しになるが、だからこそ、なるべくそのような事態にならないように、例えば、新財源の導入や他の対策を行い、最後の手段という意味合いで3つのオプションを用意しておくという考えである。</p>	田中座長 (補足説明)
Ⅳ 町民の合意形成について	<p>Ⅰ～Ⅲを実施するためには、日ごろから、町民と情報共有や合意形成を図っておく必要がある。 平常時から色々な情報提供や意見聴取、あるいは意見交換する必要があるし、当然、非常時は、Ⅲのオプション発動や新財源導入を理解してもらう必要があるので、違った段階の合意形成が必要になる。</p>	田中座長 (補足説明)

項目	意見	発言者
周知に関する意見	<p>今回の提案は、財源不足が生じ財源捻出策を実施しようとする場合、通常、どの市町村でも、施策等の見直しには調整に手間や時間が掛かり、特に何も調整せずに実施すると各課からすごいクレームが来ると思います。</p> <p>そうならないように、一定の財源不足に陥った場合、予算編成をはじめとして、柔軟な対応を実施するという考え方を職員、議会、町民に周知し、発想を転換していくことを理解してもらう必要がある。</p>	鳴矢委員
	<p>特にⅢの財源捻出策オプションは、何か新しいことをすると町民の方に説明を当然しなければいけないので、実行する際に動きが取り易いように、日ごろから説明し、ある程度の理解や合意が得られていれば、本来であれば10説明が必要なところを、1ぐらいで了解いただけるように日ごろから取り組むことが重要ではないか。</p>	鳴矢委員
合意形成に関する意見	<p>町民の合意形成が難しいという部分については、少し先を見据えてあえて意見をすると、議会の方の役割が、本当に重要になってくると思います。そこがうまく機能していないのは勿体無いと、常々感じているので、あわせて議会も真剣に考える必要があると思います。</p>	伊集委員
	<p>外部の者から見ると、やはり新財源を導入する場合、議会が鍵となるので、うまくコミュニケーションを取れば、逆に味方にもなるので重要なポイントではないかと思えます。</p>	田中座長
	<p>仮に財源捻出策オプションの具体的な内容を公表した場合、町民が驚くような内容があり、町がこのようなことを考えるのは、けしからんと議会が反発することも当然ありうるし、それは悪いことではないと思います。</p> <p>箱根町にこれまで関わってきて、様々な財政上の問題も抱えているのに町民がこの件にほとんど関心がないのは、勿体無いと感じています。</p> <p>そこをうまく活性化していくために、町の施策に色々と反発が来るのはできれば避けたいと思うかもしれませんが、町民が活発化すれば、意識も変わって行くと思うので、そういう部分は特に我々みたいな外部の者は積極的に仕掛けや投げかけを行っていくべきであると感じました。</p>	伊集委員
今回の提案について	<p>財源捻出策オプションのABCは、恐らく役場の人は、頭の中で浮かんでも絶対こういう文章は作れないと思います。部外者の私だから提案できると考えています。</p> <p>今回、色々と考えてみましたが、実行するかは別として、今後、財源不足は深刻化することはあっても、解消されることはないので、財源捻出策の選択肢を複数持っておくしかないのかなと思っています。</p> <p>1番望ましいのは、新財源の理解を得て導入することですが、いずれにしても、その次も新財源ではきりがありませんので、それ以外の備えを持っておく必要があるのではないかと考えています。</p>	田中座長
	<p>このような仕組みがあれば、少しは安心できるという部分はあるのではないかと思います。実際、どれぐらいうまく機能するかは別として、町は、先々を考えてちゃんと対応していく必要があると示すことで、庁内の発想が変わる切っ掛けにもなっていくと思いますので、その一助になれば、有意義ではないかと感じています。</p>	田中座長